

## 「北海道後期高齢者医療広域連合の財務諸表(令和2年度決算分)」の概要

### ○ 一般会計等財務書類(対象範囲：一般会計)

#### 1 貸借対照表

借 方		貸 方	
【資 産】	7 億 2,241 万 2 千円	【負 債】	77 万 7 千円
固定資産	773 千円	流動負債	77 万 7 千円
流動資産	7 億 2,163 万 9 千円	【純資産】	7 億 2,163 万 5 千円
うち基金	5 億 5,074 万円	固定資産形成分	5 億 151 万 3 千円
		余剰分(不足分)	2 億 2,012 万 2 千円
【資産合計】	7 億 2,241 万 2 千円	【負債・純資産合計】	7 億 2,241 万 2 千円

北海道後期高齢者医療広域連合の一般会計の資産総額は7億2,241万2千円で、負債は77万7千円、純資産は7億2,163万5千円。(前年度の純資産は6億2,891万8千円)

資産は、そのほとんどが現金預金と基金(流動資産)。

現金預金の内訳は、一般会計の歳入歳出差引額及び歳入歳出外現金の合計が2億2,089万9千円。

基金の内訳は、流動資産に該当する財政調整基金が5億5,074万円。

なお、流動資産の現金預金は、出納整理期間終了時の現金預金残高を示すものであり、市町村事務費負担金の精算分や、国への補助金返還分など、翌年度の精算財源とする分の金額も含まれているため、純資産のうち、余剰分の全てが本来の剰余金の要素を持つものではない。

#### 2 行政コスト計算書

経常費用は16億255万7千円で、経常収益は179万3千円。これらの差し引きからなる純経常行政コストは16億76万4千円。(前年度のコストは16億8,109万2千円)

また、臨時損失及び臨時利益がなかったため、純行政コスト16億76万4千円。

内訳を性質別にみると、人にかかるコスト(人件費)が1億495万7千円、物にかかるコスト(物件費)4,786万1千円、移転支的コスト(移転費用)が14億4,872万8千円。

#### 3 純資産変動計算書

令和2年度内における純資産の変動は、+9,271万7千円。(前年度の変動は+1,836万5千円)

内訳は、純行政コストが△16億76万4千円、市町村負担金の財源等による増が16億9,136万3千円、国・道の補助金受入による増が211万8千円。

#### 4 資金収支計算書

令和2年度末の現金預金残高は2億2,089万9千円(前年度残高は2億8,833万3千円)、うち歳計外現金残高は3万2千円。

前年度からの増減内訳は、業務活動収支の部(経常的な行政活動による資金収支)が9,349万1千円、投資活動収支の部(投資活動による資金収支)が△1億6,009万1千円など。

## ○ 全体財務書類(対象範囲：一般会計及び後期高齢者医療会計)

### 1 貸借対照表

借 方		貸 方	
【資 産】	641 億 4,744 万円	【負 債】	189 万 9 千円
固定資産	91 億 2,431 万 6 千円	流動負債	189 万 9 千円
投資等	90 億 4,020 万円		
うち基金	88 億 4,739 万 6 千円	【純資産】	641 億 4,553 万 9 千円
流動資産	550 億 2,312 万 2 千円	固定資産等形成分	96 億 2,505 万 6 千円
うち基金	5 億 74 万円	余剰分(不足分)	545 億 2,048 万 3 千円
【資産合計】	641 億 4,744 万円	【負債・純資産合計】	641 億 4,744 万円

北海道後期高齢者医療広域連合の資産総額は 641 億 4,744 万円で、負債は 189 万 9 千円、純資産は 641 億 4,553 万 9 千円。(前年度の純資産は 321 億 6,138 万円)

資産は、そのほとんどが現金預金と基金(固定資産・流動資産)。

現金預金の内訳は、各会計の歳入歳出差引額及び歳入歳出外現金の合計が 545 億 908 万円。

基金の内訳は、固定資産に該当する運営安定化基金 88 億 4,739 万 6 千円、流動資産に該当する財政調整基金が 5 億 74 万円。

なお、流動資産の現金預金は、出納整理期間終了時の現金預金残高を示すものであり、市町村負担金の精算分や、国・道等への補助金返還分のほか社会保険診療報酬支払基金への返還金など、翌年度の精算財源とする分の金額も含まれているため、純資産のうち、余剰分の全てが本来の剰余金の要素を持つものではない。

### 2 行政コスト計算書

経常費用は 8,298 億 503 万 4 千円で、経常収益は総額 7 億 7,924 万 1 千円。これらの差引きからなる純経常行政コストは 8,290 億 2,579 万 3 千円。(前年度のコストは 8,627 億 485 万 2 千円)

また、過年度修正に係る臨時利益 107 万 5 千円を計上し、純行政コストは 8,290 億 2,471 万 8 千円。

内訳を性質別にみると、人にかかるコスト(人件費)が 2 億 8,725 万 4 千円、物にかかるコスト(物件費)40 億 5,998 万 2 千円、移転支的コスト(移転費用)が 8,175 億 5,807 万 7 千円。

### 3 純資産変動計算書

令和 2 年度内における純資産の変動は、319 億 8,416 万 4 千円。(前年度の変動は△53 億 4,981 万 5 千円)

内訳は、純行政コストが△8,290 億 2,471 万 8 千円、市町村負担金や社会保険診療報酬支払基金交付金等の財源が 7,755 億 1,242 万 9 千円、国・道の補助金受入が 854 億 9,645 万 3 千円。

### 4 資金収支計算書

令和 2 年度末の現金預金残高は 545 億 908 万 4 千円(前年度残高は 187 億 5,900 万円)、うち歳計外現金残高は 3 万 2 千円。

前年度からの増減内訳は、業務活動収支の部(経常的な行政活動による資金収支)が 320 億 7,745 万 6 千円、投資活動収支の部(投資活動による資金収支)が 36 億 7,346 万 2 千円。